

週間漁海況情報 2023年第7号

令和5年2月14日発行

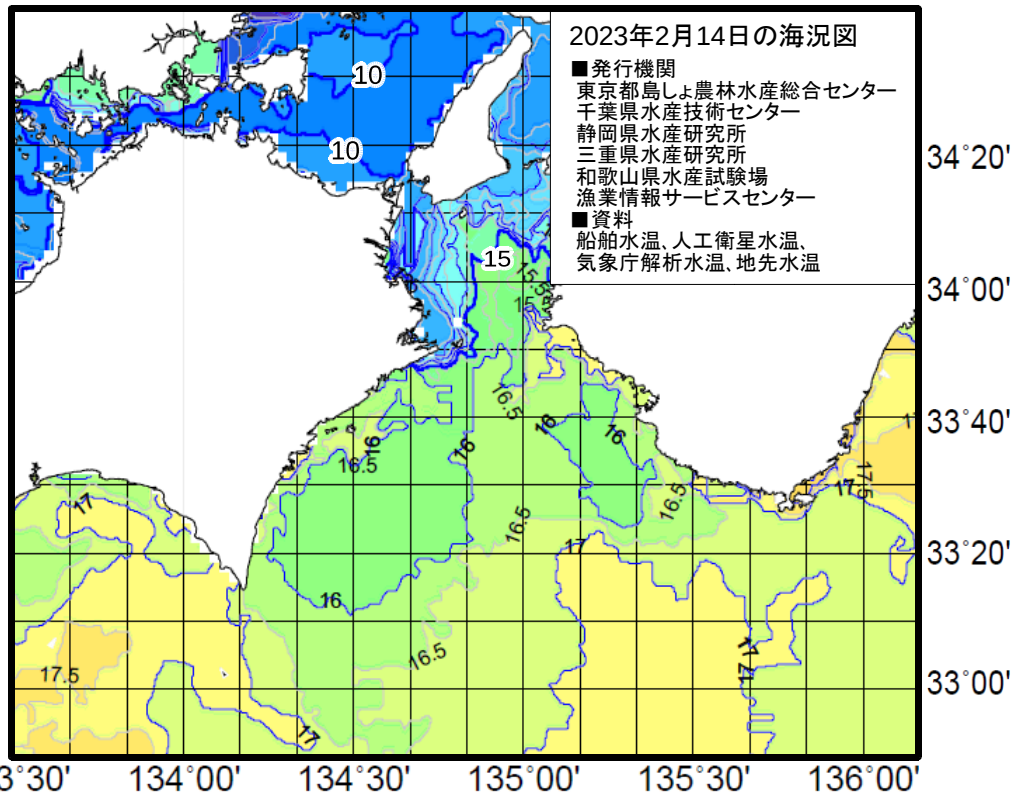
徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究課海洋生産技術担当

海況

1. 周辺海域の水温等

紀伊水道沖の黒潮は、室戸岬沖95マイル、潮岬沖155マイルを流れ、いずれも「著しく離岸」。黒潮は大蛇行でS次カーブを描いているが、東へ流れる本流とは逆に、西へ向かう分枝流が紀伊半島東で南下している。そのため、室戸岬の東側より時計回りの暖水が近づくと予測されている。

黒潮の表面水温は19～20℃台。徳島周辺海域の表面水温は、播磨灘10℃台、紀伊水道が10～12℃台、海部沿岸が12～15℃台となっている。



※黒潮の離接岸の表現

室戸岬沖 接岸：～25NM やや離岸：25～45NM 離岸：45～65NM 著しく離岸：65NM～
潮岬沖 接岸：～26NM やや離岸：26～56NM 離岸：56～86NM 著しく離岸：86NM～

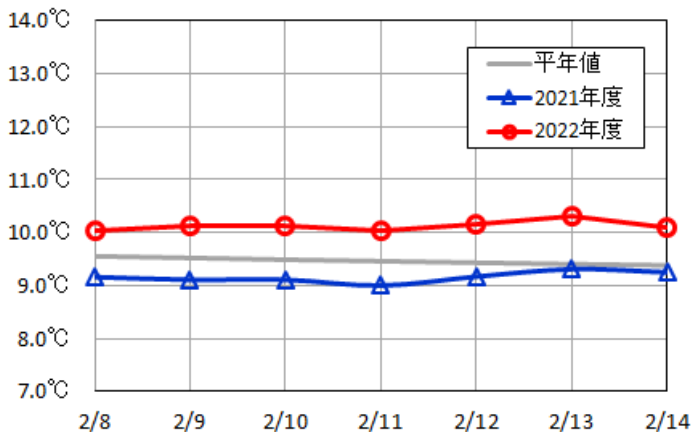
※図中の破線は黒潮の北縁を示しています(このところ、著しい離岸が続いているため、表示範囲より南の場合が多い)。

直近4日分の海況図を水産研究課HPに掲載しています。

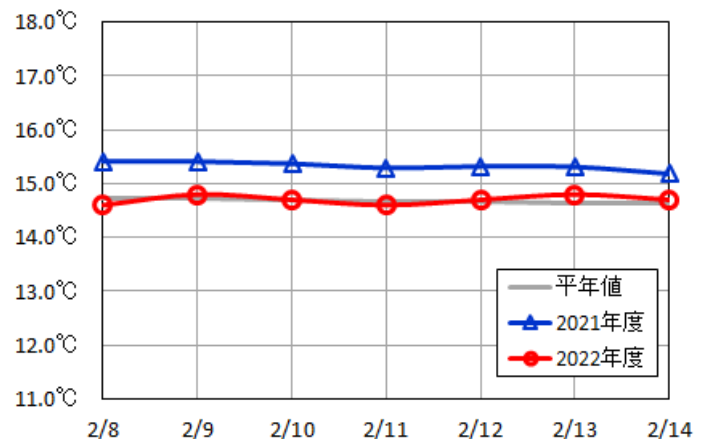
2. 地先水温(2月8日～2月14日)

鳴門地区の水温は、10.0～10.1℃で「平年並み」から「やや高め」、日和佐地区は14.6～14.8℃で、「平年並み」で推移。鳴門と日和佐地区の水温差は4.49～4.6℃で、先週と比べて広がった。

鳴門地区



日和佐地区



※水温の高低 平年並み：平年値±0.5℃未満、やや高め/やや低め：平年値±0.5℃以上1.5℃未満
高め/低め：平年値±1.5℃以上2.5℃未満、かなり高め/かなり低め：±2.5℃以上

※平年値 1984年～2018年の平滑平均値

3. 週間予報(2月15日～2月21日)

黒潮は、室戸岬、潮岬沖とも、「著しく離岸」する見込み。

地先水温は、鳴門地区は「やや高め」、日和佐地区は「平年並み」で推移する見込み。

今年の水温は例年より早く底を打った感じ。今後ゆるやかに上昇に転じる見込み。

漁況 (2月6日～2月12日)

1. 紀伊水道 (標本漁協：5)

釣りでは、ブリがめじろ級主体に0.2ト水揚げされた。

延縄では、ブリが減ってめじろ級主体に1.4ト、サワラが大主体に0.6ト水揚げされた。

建網では、メジナが減って0.2ト水揚げされた。

小型定置網では、マアジが大きく増えて特大主体に2.2ト、ブリがめじろ級主体に0.3ト、マダイが増えて小小主体に0.3ト、ボラが減って大主体に0.2ト水揚げされた。

底びき網では、かます類が3.9ト、マアジが増えて小主体に1.2ト、えそ類が減って0.3ト、マダイが増えて0.2ト、シリヤケイカが大きく減って0.2ト水揚げされた。

2. 海部沿岸 (標本漁協：4)

釣りでは、タチウオが1.9ト、ブリが増えて大主体に0.3ト水揚げされた。

延縄では、アカムツが0.2ト水揚げされた。

小型定置網では、メジナが0.7ト水揚げされた。

大型定置網では、ブリが減って0.7ト、マサバが大きく増えて小小主体に0.4ト水揚げされた。

漁獲量集計表 (漁獲量が0.2トン以上のものを抜粋)

海区	漁業種類	出漁隻数 (のべ)	魚種	漁獲量	1日1隻あたり(kg)	銘柄	前週比※
紀伊水道	釣り	9	ブリ	236	26	めじろ級主体	→
	延縄	39	ブリ	1,408	36	めじろ級主体	↘
		26	サワラ	568	22	大主体	→
	建網	16	メジナ	245	15		↘
	小型定置網	17	マアジ	2,156	127	特大主体	↗↗
		15	ブリ	275	18	めじろ級主体	→
		11	マダイ	265	24	小小主体	↗
		7	ボラ	243	35	大主体	↘
	底びき網	24	かます類	3,865	161		→
		14	マアジ	1,192	85	小主体	↗
		22	えそ類	296	13		↘
		17	マダイ	216	13		↗
23		シリヤケイカ	203	9		↘↘	
海部沿岸	釣り	26	タチウオ	1,947	75		→
		5	ブリ	265	53	大主体	↗
	延縄	7	アカムツ	237	34		→
	小型定置網	9	メジナ	717	80		→
	大型定置網	4	ブリ	650	163		↘
3		マサバ	399	133	小小主体	↗↗	

※ 前週比 200%以上:↗↗ 120-200%:↗ 80-120%:→ 50-80%:↘ 50%未満:↘↘